

SUZUKA UNIVERSITY LIBRARY NEWS

2025 年度
6 月号



こんにちは！ 附属図書館です。
紫陽花が綺麗な花を咲かせる季節になりました。
梅雨に入ると、室内で過ごすことが多くなりますね。
こんなときこそ、ゆっくりと本を読んでみてはいかがでしょうか？
図書館に、お気に入りの一冊を探しに来てください



今、ブームの **【編み物】**



編み物のリズミカルな動きが副交感神経を刺激し、
体全体がリラックスした状態になることが、
ストレスの軽減に直結するそうです。
また、何かを手作りする達成感が、自信を高め、
ポジティブな感情を生み出すと言われています。
新しい本も入荷しましたよ！！
ちょっと **【編み物】** 始めてみませんか？

* 図書館ポイントカード *

- ♪ 大学生・短大生・大学院生・科目履修生・授業公開受講者が対象（学外利用者は除く）
- ♪ 貸出1回につき1ポイントの押印→10ポイントで【グッズ】プレゼント！
（カード作成は1年に2枚まで、紛失された場合のポイントは無効、グッズは、無くなり次第終了）

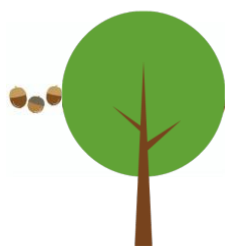
SUZUKA UNIVERSITY & SUZUKA JUNIOR COLLEGE POINT CARD	
STUDENT ID	
NAME	
	

ポイントためて
グッズを Get しよう！！



6 月展示

[国際地域学部]



テーマ

🏠 町屋

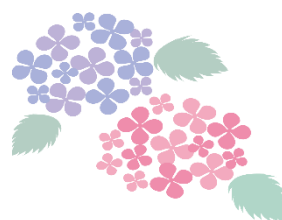
🏠 古民家再生



古い街並みのたいせつさについて理解しよう！

ー三重県の古民家マップで巡ろうー

雨の降る日に・・・



6 月 17 日の誕生花

[紫陽花]

図書館でゆっくり

本を読みましょう

阿部 亮平さん：歌手（Snow Man）おすすめ本

『ゴールデンスランバー』

伊坂幸太郎 / 新潮社文庫



首相暗殺の濡れ衣。

そんなもの着せられたらどうしますか？

「いいか、よく聞けよ。お前は、陥れられている。」

偶然再会した大学時代の友人との会話から、得体の知れない渦に巻き込まれていく。

なぜ自分が巻き込まれたのか、なぜ警察から追われるのか、この事件の黒幕は一体何者なのか。

いや、そもそも友人との再会ですら偶然でなかったとしたら。

僕がこの本を読んで、最後に残ったおしゃれな伏線を回収した時、初めて読書で泣きました。

そんな大好きな作品です。

【メッセージ】

さまざまなエンタメが溢れかえってる現代ですが、特に読書は創造力のストレッチができる気がします。情報量としては文字だけなので映像や漫画などより少ないですが、その分自分で物語の世界を創ることができますよね。

また本の世界では、ドラマであればカットされるであろう本筋とは関係のなさそうな描写が、登場人物の心情や個性への理解をより深めるきっかけになります。そうやって創造した“自分の”物語の世界にきっと愛着が湧きますよ。

『トムは真夜中の庭で』

フィリップ・ピアス作 高杉一郎訳

岩波少年文庫 岩波書店 1975 年



こども教育学部 准教授 井上明美

近所の住宅街にある家の庭で、ポニー（小馬）のトムは飼われている。トムは一日の大半、遠くを眺めて過ごしている。その瞳には、生まれ故郷の北海道が見えるかのようである。その姿は、幼かった頃に何度も読み返した小馬と同じ名の少年の物語を私に思い出させた。

物語のトムは、家の事情から、遠く離れた都会に住む親戚に一人で預けられた。その家は密集した住宅地にある、かつての大邸宅を改築したアパートであった。不安と憤りから眠れぬトムは、遠い昔から時を刻んできた大時計が 13 時を打つのを聞く。大時計に導かれるように部屋を抜け出たトムが裏口の戸を開けると、そこにはイチイの大木のある花畑や果樹園、小川が流れる広大な庭があった。それから毎夜、大時計が 13 時を知らせると、トムは庭に出かけ、ハティという年下の少女と出会う。両親を亡くしたハティは邸宅の持ち主である親戚に預けられていたが、寂しさを微塵も見せず、トムと共に庭で遊び、冒険する。ところが、ハティは夜ごとに成長し、幼かった

女の子からやがてはトムの年齢を追い越すと思春期の少女から大人の女性へと成長していく。

大人になったハティには、トムは実態のない影のような存在となり、最後に、裏口のドアを開けたトムの目の前には、薄暗い路地が姿を見せるだけであった。混乱したトムが大声で「ハティ」と叫ぶと、その声は、真夜中のアパート中に響き渡り、最上階に住む老女にも届く。老女こそかつての少女ハティであり、年老いたハティは幸せに過ごした庭を毎夜夢に見ていたのであった。次の朝、現実の世界で出会ったトムとハティは懐かしい友のように強く抱き合うのであった。

ポニーのトムの凜とした姿と澄んだ瞳を求めて、私はトムに会いに行く。その時、幼い時は物語のトムのようであった私は今やハティとなり、幸せな思い出や目の前にはない風景も確かに私の内なる世界として存在し、それらが私を支え、心を温かくしてくれることを実感するのである。